

【参考】『評定平均値とは』

すべての受講科目の評定を合計し、科目数で割ったものを指します。

多くの上級学校・企業が書類選考の際に高校3年間の評定平均値を重視しています。

本校のシステムでは、就職希望者は、中間年次までの評定平均値、進学のおすすめ希望者は卒業年次の前期までの成績で書類が提出されます。

つまり、就職や進学の推薦を希望している中間年次の生徒は成績を上げるチャンスはあと1～2回しかありません。卒業年次になってからでは遅いということを自覚してください。

また、卒業年次の生徒は、評定平均値はもちろん、面接や作文（小論文）、入試科目の勉強にも、きちんと取り組む必要があります。”今”できることを積み上げていきましょう。

テストの成績と、出席点、平常点を併せた点数の評定は、以下の通りです。

得意な科目は評定4，5を目指していきましょう。

評定	5	4	3	2	1
点数	80点以上	65～79点	50～64点	40～49点	39点以下 (未修得)